

■令和6年度 第4回 国分寺市地域公共交通会議 議事録(案)

1. 開催概要

- ・開催日時：令和7年2月28日（金）午後3時00分～午後4時00分
- ・開催場所：アクティ・ココブンジ会議室B

・委員等：

（出席委員） 鈴木文彦委員、市民委員：鈴木敬委員、西武バス(株)計画部計画課長：秦野凌委員、立川バス(株)運輸計画部計画課長：佐藤祐浩委員、京王電鉄バス(株)運輸営業部乗合事業担当課長：三浦裕介委員、(一社)東京バス協会乗合業務部長：富樫秀樹委員、立川バス労働組合執行委員長：土岐雅人委員、国土交通省関東運輸局東京運輸支局首席運輸企画専門官(輸送担当)：佐藤義尚委員、警視庁小金井警察署交通課長：並木正彦委員、東京都北多摩北部建設事務所管理課長：榊原元秋委員、国分寺市建設環境部長：島崎進一委員

（欠席委員） 三和交通多摩(株)常務取締役：山口真委員

（事務局） 古谷交通対策課長、源内地域バス等担当係長、鈴木交通対策担当、杉山地域バス等担当

（傍聴者） 3名

・会議次第

1. 国分寺市地域バス（ぶんバス）運行事業者について（日吉町ルート、東元町ルート、万葉・けやきルート）
2. 協議運賃の決定について（日吉町ルート、東元町ルート、万葉・けやきルート）
3. その他

[事務局]

後日会議録作成のため、録音する旨と、会議資料の確認を行った。
また、委員の出席状況について説明。

[会長]

出席多数のため今回の会議は、成立しています。

1. 国分寺市地域バス「ぶんバス」運行事業者について

[事務局]

資料に基づいて、新事業者トーショー交通株式会社の説明。

簡単な経緯として、日吉町ルート、東元町ルート、万葉・けやきルートの運行事業者である、京王バス様より協定解除の申し出がありました。公募型プロポーザル審査を実施し、審査の結果、トーショー交通株式会社を優先交渉権者として選定いたしました。

[会長]

ご質問等ありますでしょうか。

[立川バス(株)佐藤委員]

事業者を変更するルートについて、既存の運行スケジュールで変更はないとの理解でよろしいでしょうか。

[事務局]

運行スケジュールに変更はございません。

[会長]

京王バス（株）が使用している車両は全て移管されるのでしょうか。

[事務局]

日吉町ルート2台、東元町ルート1台、万葉・けやきルート1台、予備車両も含め全てトーショー交通（株）へ移管されます。

[東京運輸支局佐藤委員]

協議が調った証明書へ、運行事業者名を記載してください。

[会長]

皆様、新事業者をトーショー交通株式会社様としてよろしいか。

[各委員]

賛成。

2. 協議運賃についてご報告

[事務局]

日吉町ルート、東元町ルート、万葉・けやきルートの3ルートについて、各部会において運賃案についての協議が調ったことを報告。

[会長]

事務局よりの説明は以上です。何かご質問等がありますか。

[市民委員鈴木委員]

マルチ決済について、対応ブランド等詳細を教えてください。また、運転免許を自主返納した市民に付与しているぶんPassは継続利用できるのでしょうか。

[事務局]

クレジットカードのタッチ決済、二次元バーコード決済が利用可能です。交通系ICカードの対応は現在開発中で搭載時期は2025年中の予定と運行事業者より伺っております。ぶんPassは、継続利用でき、運賃は無料です。

[東京運輸支局佐藤委員]

4月1日以降の本多ルートの支払い方法と変更はあるのでしょうか。

[事務局]

同様の支払い方法となり、変更はございません。

[立川バス(株)佐藤委員]

路線ごとの広報をお願いいたします。

[会長]

支払い方法は市民が混乱しないよう、広報の徹底をお願いします。

[事務局]

承知しました。

[市民委員鈴木委員]

「同一ルート内に限り1周を超えない範囲で乗り継ぎ割引を適用」とありますが、こういった意味でしょうか。

[東京運輸支局佐藤委員]

乗車したバス停から1周を超えない範囲であれば起点を通過しても料金を支払う必要がないという意味です。

[会長]

市民へは馴染みのない言葉です。広報していく上で、市民へ周知する際は、わかりやすい言葉をお願いします。

[事務局]

証明書の文言と市民への広報の文言は変えてわかりやすいようにいたします。

3. その他

[京王電鉄バス(株)三浦委員]

まずは、これまで、4月1日から移管される本多ルートを含め、今般審議いただいた3ルート、4ルート、運行開始当初から、運行させていただきまして、ありがとうございました、感謝申し上げます。

乗務員不足が主な原因で国分寺市様、委員の皆様にご負担とご心配をおかけしたことについて、まずは深くお詫び申し上げます。

今般、次の運行事業者としてトーショー交通様に決定したことに対しては安堵の気持ちと、引き受けてくださったトーショー交通様には敬意の気持ちを表明させていただきたいと思います。

しかしながら、今般のトーショー交通様の採用手法につきまして疑問に感じるがありましたので、共有させていただきたいと思います。

トーショー交通様、本多ルートの運行にあたりまして、ホームページで乗務員を募集していましたが、大型二種免許保持者を対象に採用告知を展開しておりました。その雇用条件が良いということもありまして、当社現役乗務員5名に内定を出すというところとなっております。おそらくそのほとんどの者が、トーショー交通様に採用されるかという状況となっております。

もちろん、採用は当然、自由競争ですし、職業選択の自由がありますので、それに対して、具体的にどうこうは言えないのですが、やはり、業界全体、乗務員不足厳しい中で、我々民間のバス事業者は、ある程度、紳士協定ではないですが、節度を持って採用活動を展開してきたというところでありまして、何より、一番大きいところでいうと、今、そういうバス乗務員の成り手のパイが限定されてきているところで、各バス事業者は養成制度の取り組みをしてきていまして、要は大型二種免許を持っていない者を採用して、会社の費用負担で大型二種免許を持つ者を養成するというところにほとんどのバス事業者は取り組んでおります。

今回は、そういった養成の手段も取らずに、すべて現役のドライバーを採用して賄う。やはりこういった採用手法については疑義が残るとい

うことです。先般、トーショー交通の金澤様をお訪ねして、そういったことに関して抗議させていただいております。今般残りの3ルートがトーショー交通様に引き継がれるというところで、今後の状況についても引き続き、私どもは注視せざるを得ないのかなというところでございます。

[会長]

今、ご発言いただいたところは、多摩地域だけではなくて、全国的に同じような状況の中での問題であり、路線の移管であったり、あるいはそういったことを含めた再編であったりとこれからいろいろと出てくるところで、そういう中では単に資源を奪い合うようなことにはならないほうがよろしいと私は思っていますし、私自身、注意して見ていきたいと思っています。

ただし、いずれにしても、どこがやるにしても乗務員を確保しなければならないという現実がありますので、この辺の採用の手法は注視をしながら、どんな形が望ましいのか、それぞれ事業者の立場で考えることが必要かと思えます。

京王さんの状況が悪くなると、他にも影響が出てしまいますので。全体トータルで考えるとそういったことも出てきてしまいますので。

[会長]

ありがとうございました。その他、よろしいでしょうか。無いようなので、第4回国分寺市地域公共交通会議を終了いたします。